

## 事業報告書

5月の新型コロナウイルス感染症の5類変更に伴い、地域でのつながりづくりの再構築にむけて、各種事業の再開をすすめた。令和3年度から8年度までを期間としている「泉佐野市地域福祉活動計画」についても、状況の変化を踏まえた中間見直しを行い、“これまで”コロナ下での対応を含めて取り組んできた実践と、“これから”とりくむ地域福祉活動のあり方について関係者と議論を行い、とりまとめを行った。

高齢者支援については、認知症施策推進事業として高齢者対象のスマートフォン教室を開催。昨年度から取り組んでいる介護予防の「さのトレ体操」については実施個所が拡大した。

ひきこもり講演会や生きづらさを感じている人の多様な働き方（社会参加）を考える勉強会を開催し、昨年度に引き続き当事者・家族・福祉事業所の他、今年度は企業からの参加もあり、今後の取り組みにつながる機会となった。

地域活動支援については、各地区担当職員の配置により、地域の状況に合わせて情報提供や研修・連絡会を開催し、地区福祉委員会等住民主体の支えあい活動推進の支援に取り組んだ。また、男性の居場所づくり事業を開始し、講座や交流会の参加者が地域活動に参加することができる機会をつくった。

ボランティアセンター事業については、ボランティアフェスティバルは泉の森広場、生涯学習センターの多目的室を会場に、登録ボランティアグループ等の活動の体験ブースやPRを中心に実施した。

日常生活自立支援事業については、知的・精神障がい者の利用者が多い状況が継続しており、新規契約に関する相談が増加傾向にある。

地域の実情に合わせた自主的な福祉活動の計画的実施のため、引き続き会員会費募集・歳末助け合い運動に努めた。赤い羽根共同募金については、佐野支援学校の生徒の協力を得て街頭募金を実施することができた。

泉佐野市民生委員児童委員協議会の運営についてはコロナ禍で休止となっていた活動が再開し、地区民児会活動、各部会活動も含めて事務局として支援を行った。

高齢者・障がい者を含め誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、関係者・関係機関と連携し以下の通り地域福祉活動を推進した。

### 〔1〕法人運営関係

#### 1. 会議

法人の運営を円滑にするため下記の会議、研修会を開催した。

- (1) 定例理事会の開催 10回
- (2) 三役会の実施 3回
- (3) 定例評議員会の開催（書面決議含む） 3回
- (4) 監査の実施 1回
- (5) 評議員選任・解任委員会の開催 2回
- (6) 法人化 55 周年福祉大会実行委員会 2回
- (7) 法人化 55 周年福祉大会の開催

開催日 / 令和 5 年 10 月 21 日（土）

内 容 / オープニング 番匠谷紗衣氏によるコンサート

記念式典

記念講演&パフォーマンス

「エンターテインメントの力でバリアクラッシュ」

講師：一般社団法人 手話エンターテインメント

発信団 oioi

場 所 / エブノ泉の森ホール 小ホール

参加者 / 134 名

## 2. 法人への寄附

寄託件数	1 件
寄託金額	8,100 円

## 3. 実習生の受入

社会福祉士（180 時間・24 日以上） 延べ 5 名

看護師（1 日） 延べ 24 名

## 4. 視察の受入

4 月 17 日(月) 韓国大邱市議員団視察 10 名

4 月 19 日(水) 韓国大邱市寿城区訪問団視察 7 名

9 月 11 日(月) 韓国安山市障害福祉館 9 名

11 月 7 日(火) 韓国大田市・世宗市視察 15 名

12 月 19 日(火) 韓国三育保健大学校視察 17 名

## 〔2〕 地域福祉事業の推進

平成 7 年度より取り組んでいる『小地域ネットワーク活動』は市内すべての地区で一人暮らし高齢者や高齢者・障がい者世帯等への個別支援活動や、町内会館等でのふれあいきいきサロン活動や子育てサロン、世代間交流会などが開催されており、新型コロナウイルス感染の減少に伴い、活動が再開し始め、活発化している。

平成 25 年度から継続して行っている「地域の暮らしを話す会」についても、地区の状況に合わせて開催された。

### 1. 小地域ネットワーク活動地区の指定

- 《 7 年度～》
- (1) 日新地区福祉委員会連合会・・・〔4 支部〕
  - (2) 佐野台地区福祉委員会・・・〔4 支部〕

	(3) 北中地区福祉委員会・・・〔3支部〕
	(4) 三小地区福祉委員会・・・〔3支部〕
	(5) 末広地区福祉委員会・・・〔6支部〕
《8年度～》	(6) 一小地区福祉委員会・・・〔8支部〕
《9年度～》	(7) 長滝地区福祉委員会・・・〔5支部〕
《10年度～》	(8) 上之郷地区福祉委員会・・・〔7支部〕
《11年度～》	(9) 大土地地区福祉委員会・・・〔2支部〕
《12年度～》	(10) 長坂地区福祉委員会・・・〔8支部〕
《13年度～》	(11) 日根野地区福祉委員会・・・〔10支部〕
《14年度～》	(12) 南中地区福祉委員会・・・〔4支部〕
	(13) 中央地区福祉委員会・・・〔6支部〕
《15年度～》	(14) 二小地区福祉委員会・・・〔9支部〕

## 2. 連絡会の開催

- |                   |    |
|-------------------|----|
| (1) 地区福祉委員会連絡会の開催 | 4回 |
| (2) 支部連絡会の開催      | 1回 |

## 3. 研修会・講座等の開催

- (1) 子育てサロン実施地区研修会・連絡会

開催日 / 令和5年9月26日(火)

内容 / 連絡会「子育てサロンの情報交換会」

参加者 / 30名

- (2) 小地域ネットワーク活動報告集会の開催

開催日 / 令和6年2月29日(木)

内容 / 実践発表「始動！さのトレ体操」

日新地区福祉委員会 泉陽ヶ丘支部福祉委員会

「地域の愛はコロナに負けない」

三小地区福祉委員会

講演 「ACP～人生会議について～」

講師：一般社団法人泉佐野泉南医師会 理事

中西脳神経外科・内科

中西喬尚氏

参加者 / 188名

- (3) 地域で実践できる防災講座

開催日 / 令和5年7月18日(火)

内容 / 防災ゲーム体験

防災ゲーム活用についての案内

参加者 / 45名

- (4) 小地域を支えるボランティア講座

より市民に近いところで開催できるように、出張講座として行った。

日時	地区	内容
5月26日(金)	日根野地区	子育てサロンほほえみ取り組み紹介
5月28日(日)	旭町支部	毎日のフレイル予防体操
6月25日(日)	笠松支部	健康長寿6つのポイント
9月10日(日)	末広地区	介護保険制度について
9月24日(日)	三小地区	防災知識取得
10月27日(金)	一小地区	ヤングケアラーについて

(5) 学校における福祉教育への協力

日時	学校	対象	内容
10月17日(火)	上之郷小学校	5年生	高齢者疑似体験
11月28日(火)	第三小学校	1・2年生	ボッチャ体験
		3・4年生	車いす体験
		5・6年生	認知症サポーター養成講座
1月25日(木)	佐野台小学校	6年生	障がい理解学習
1月29日(月)	第一小学校	6年生	障がい理解・車いす体験
2月1日(木)	日根野小学校	3年生	車いす体験
2月22日(木)	第二小学校	3年生	障がい理解について
3月18日(月)	中央小学校	5年生	車いす体験

4. 小地域ネットワーク活動の実績

《個別訪問活動》

項目 支部	ネット数 (世帯)	月1回以上の定期的な訪問(世帯)			延べ 訪問回数	延べ 訪問人数	登録協 力員数
		65歳以上 独居高齢者	65歳以上 高齢者世帯	その他 障がい者他			
日新地区	189	185	3	1	2,259	4,860	56
佐野台地区	273	213	55	5	10,730	16,643	114
北中地区	282	280	0	2	3,291	6,509	66
三小地区	101	101	0	0	2,046	4,356	61
末広地区	56	49	2	5	1,102	1,837	70
一小地区	153	148	3	2	2,308	3,379	144
長滝地区	98	65	6	27	2,185	4,193	103
上之郷地区	64	51	12	1	1,302	1,830	96
大土地地区	46	42	3	1	552	876	54
長坂地区	280	229	32	19	4,437	10,305	132
日根野地区	196	178	18	0	2,579	4,420	170
南中地区	135	135	0	0	1,763	3,402	73
中央地区	213	209	1	3	2,875	8,063	126
二小地区	234	161	62	11	2,828	3,474	95
合計	2,320	2,046	197	77	40,257	74,147	1,360

《グループ支援活動》

項目 支部	実施回数	グループ支援活動内訳			参加者内訳	
		いきいきか 食事会	世代間交流会	子育てサロン	対象者	関係者
日新地区	340	326	3	11	3,613	934
佐野台地区	279	274	5	0	4,351	1,500
北中地区	31	16	6	9	609	216
三小地区	193	122	2	69	1,837	1,054
末広地区	223	220	3	0	3,524	1,389
一小地区	451	396	35	20	4,838	2,373
長滝地区	158	135	9	14	2,849	1,308
上之郷地区	32	31	1	0	500	162
大土地区	29	7	21	1	833	219
長坂地区	344	329	15	0	5,055	1,692
日根野地区	131	102	9	20	3,231	1,054
南中地区	44	27	6	11	707	276
中央地区	48	25	1	22	996	265
二小地区	222	162	39	21	1,929	815
合計	2,525	2,172	155	198	34,872	13,257

5. 地域の暮らしを話す会の実施

地区	日時	場所	参加者数
日新	12月11日(月) 18:30~19:30	ホテルニューユタカ	35
佐野台	10月1日(日) 11:00~12:00	南泉ヶ丘町会館	5
北中	11月28日(火) 19:00~20:00	鶴原町会館	21
三小	12月2日(土) 10:00~11:00	春日町会館	17
末広	12月14日(木) 19:00~20:00	東羽倉崎南町集会所	19
一小	8月25日(金) 19:00~20:00	松原団地集会所	60
長滝	5月5日(金) 10:00~11:30	長滝第一町内会館	36
上之郷	3月22日(金) 19:00~20:00	上之郷コミュニティセンター	13
大土	書面開催		4
長坂	書面開催		45
日根野	1月20日(土) 19:00~20:30	日根野公民館	45
南中	3月5日(火) 19:00~20:00	南部市民交流センター	16
中央	10月7日(土) 13:30~14:30	松風台会館	19
二小	10月27日(金) 19:00~20:00	高松総合会館	18
延べ参加者			353

6. 地域福祉活動計画の推進

(1) 地域福祉活動計画推進委員会の開催

5回

## 7. 生活支援体制整備事業

平成30年度より第1層生活支援コーディネーターを1名配置、令和元年度には第2層生活支援コーディネーターを2名配置し、令和2年度には第2層生活支援コーディネーターを1名増員し住民による支えあい活動を推進した。

### (1) コミュニティカフェ実施主体連絡会の開催

開催日 / 令和5年10月10日(火)  
内容 / トークテーマに応じた意見交換会  
参加者 / 24名

### (2) 各種会議への参画

地域福祉計画推進審議会・地域福祉活動計画推進委員会、地域福祉計画庁内検討会議、地区福祉委員会連絡会、社協地区担当者会議、地域の絆づくり担当者会議、医療介護連携事業事務局会議、地域ケア会議全体会、自立支援型地域ケア会議、ロコトレ会議

### (3) 生活援助サービス従事者研修の実施

3日間×2クール  
合計参加者数/44名(44名修了証発行)

## [3] 災害に強い街づくり事業の推進

地域福祉活動支援の一環として、必要に応じて情報提供や相談支援を行った。

### 1. 災害時図上訓練用マップの提供 0地区

### 2. 自主防災会組織等への活動支援・出席等

防災関係相談支援：延32件  
訓練・会議等出席状況：延5件

### 3. 研修会の開催

#### (1) 災害に強いまちづくり研修会の開催

開催日 / 令和6年2月10日(土)  
内容 / 地域と事業所との連携、顔の見える関係づくり  
参加者 / 17名(自主防災会7名・モデル事業所5名・事業所5名)

### 4. 災害ボランティアセンター設置模擬訓練の開催

令和4年度から令和5年度にかけて4団体と協定締結を行ったこともあり、社協役職員・災害協定団体・災害時事前登録ボランティアとともに模擬訓練を開催。

開催日 / 令和6年3月16日(土)  
内容 / 災害ボランティアセンターの役割について  
参加者 / 61名(社協役員13名・協定団体6名・事前登録ボランティア9名・職員33名)

### 5. 災害ボランティア事前登録事業

- (1) 事前登録事業 登録者 55名
- (2) 講習会・訓練等の実施

### ①大阪 880 万人訓練

開催日 / 令和 5 年 9 月 1 日 (金)

内 容 / 大阪府及び泉佐野市からのメール配信後、災害ボランティアセンターへ電話連絡を行うことで、発災時の事前登録者の行動喚起と社協職員の間合せ対応の訓練とした。

### ②研修会

開催日 / 令和 5 年 5 月 13 日 (土)

内 容 / 防災ゲーム体験会 防災すごろく「助け合ってご〜」

参加者 / 9 名

## 6. 災害時における協力体制の構築

- (1) 泉佐野市青年団協議会との協定締結 令和 5 年 7 月 20 日

## 7. 被災地への支援活動

- (1) 海南市災害支援 (近畿ブロック派遣)

近畿ブロック社協相互支援協定に基づく海南市災害 V C 運営支援

令和 5 年 6 月 22 日～7 月 22 日 (うち海南活動日 13 日間)

- (2) 海南市ボランティアワゴン実施

令和 5 年 6 月 16 日 職員 4 名・ボランティア 11 名

令和 5 年 7 月 8 日 職員 3 名・ボランティア 1 名

- (3) 七尾市災害支援 (近畿ブロック派遣)

近畿ブロック社協相互支援協定に基づく七尾市災害 V C 運営支援

令和 6 年 3 月 28 日～4 月 3 日

## [4] ボランティアセンター事業の推進

コロナ禍により、会話の機会が少ない高齢者や社会的孤立者等が増加し、傾聴ボランティアの必要性が高まっている。その活動を希望している施設等からのニーズもあり、ボランティアセンター運営委員会と協議し、傾聴ボランティア養成講座を実施した。

### 1. 各種会議の開催

- (1) ボランティアセンター運営委員会の開催 5 回  
(2) ボランティアアドバイザー連絡会の開催 12 回  
(3) 登録ボランティアグループ連絡会の開催 1 回

### 2. ボランティア活動のコーディネート

- (1) 個人登録ボランティア

活動の需給調整は 4 月～3 月の間実施。サロン・ド・ボランティアは 4 月～3 月の間実施。本年度、3 月末の登録ボランティアは 222 名、延べ活動人数は 450 名である。内訳は表のとおり。

分野	施設名	活動内容	延べ活動者数
障がい者(児)	スポーツ教室	スポーツ介助	22
	いいね	レクリエーション補助	4

分野	施設名	活動内容	延べ活動者数
障がい者(児)	ルリエ	レクリエーション補助	82
	木馬園	保育補助	25
高齢者	栄公苑	レクリエーション補助	73
	グループ栄公・アムリタ	レクリエーション補助	6
社 協	声のボランティア	市報朗読	200
	イベント	チャリティバザー手伝い	7
	イベント	社協ふれあいクリスマス会 手伝い	4
	イベント	ボランティアフェスティバル 手伝い	8
	—	外国人のための食料配布	12
	—	掘り出し市の手伝い	2
	—	ジャガイモプロジェクト 販売準備	5

## (2) グループ登録ボランティア

ボランティアグループの育成・支援をするためにボランティアセンターや福祉センターの会議室や機材等の貸し出しを行い、また、社協事業において登録グループに協力を求め、外部からの派遣依頼に対しグループの紹介を行った。3月末の登録ボランティアグループは9グループである。

ボランティアセンターからの活動依頼及び紹介による活動実績は下記のとおり。

グループ名	活動内容	活動回数	延べ活動者数
リフォーム なでしこ	社協ふれあいクリスマス会プレゼント制作	51	200
手話サークル いちよう	社協チャリティバザー手話通訳	1	4
	社協ふれあいクリスマス会手話通訳	1	2

## 3. 講座及び研修会の開催

### (1) 傾聴ボランティア養成講座

会話の機会の少ない高齢者や社会的孤立者等の増加により、傾聴ボランティアの必要性が高まっているため、担い手を育成することを目的で開催。

開催日	内 容	参加者数
10月5日 (木)	傾聴の基礎知識(養成コース、入門コース) 講師：吹田傾聴「ほほえみ」代表 長谷川美津代 氏	23
10月12日 (木)	高齢者心理・認知症理解(認知症サポーター養成講座) 講師：基幹包括支援センター職員	13
11月2日 (木)	傾聴ボランティア活動について、傾聴練習 講師：栄公会職員	13

#### 4. 居場所と交流機会の提供

##### (1) サテライト事務所「シャッピーハウス」の開設

誰でもふらっと立ち寄れる地域の居場所づくりを目的に、喫茶スペースやチャリティショップを運営。また、ボランティアグループや各種団体の活動拠点として会議室の貸し出しも行っている。シャッピーハウスを地域住民に知ってもらい、平常時の利用促進のために、掘り出し市やPRイベントを実施した。

##### ①掘り出し市

開催日	／	令和5年5月17日(水)
		令和5年10月25日(水)
内容	／	市民・事業所による持ち寄り品の販売
場所	／	シャッピーハウス館内
参加者	／	参加者 約100名

##### ②PR イベント

開催日	内容	対象	参加者数
8月2日(水)	親子でやってみよう！ シャボン玉交流会	未就学児～小学6年生まで(保護者同伴)	10組の親子
8月23日(水)	親子でやってみよう！ 子どもも出来るお肌の紫外線予防講座	未就学児～小学6年生まで(保護者同伴)	2組の親子
3月26日(火)	かざぐるま 手作り体験会	どなたでも	22

##### (2) 男性の居場所づくり事業

男性が主体となり、相互の協力のもとに地域の男性が気軽に集い交流を行う居場所づくりを目的に実施。

##### ①男の珈琲道場 (いずれもコープ泉佐野店にて実施)

開催日	内容	参加者数
5月22日(月)	小川珈琲(株)によるコーヒー淹れ方講座	11
6月12日(月)	習ったコーヒーの淹れ方実践と交流会	12
7月31日(月)	参加者交流会	2
9月4日(月)	参加者交流会	2
11月22日(水)	小川珈琲(株)によるコーヒー淹れ方講座	12
11月29日(水)	習ったコーヒーの淹れ方実践と交流会	14
1月22日(月)	コミュニティカフェ (ふれあいカフェ茶輪とのコラボ企画)	ボランティア 8 参加者約 50

##### ②男の咖喱道場 (いずれもコープ泉佐野店にて実施)

開催日	内容	参加者数
9月25日(月)	クッキング交流会	4
3月5日(火)	クッキング交流会	8

## 5. 各種行事

### (1) 障がい児者ふれあい交流会

パラスポーツ「ボッチャ」を通じて、障がいの理解促進と交流を図るために開催。  
運営者向け、初心者向けスクールと大会を実施。

#### 【ボッチャスクール】

開催日 / 令和5年7月29日(土)  
内 容 / ルール説明・投球練習  
講 師 : 大阪体育大学 准教授 曾根裕二氏  
場 所 / J:COM 末広体育館  
参加者 / 18名 協力者 / 13名

#### 【ボッチャ大会】

開催日 / 令和5年9月10日(日)  
内 容 / 3人1チームでリーグ戦を行い、勝利チームで決勝トーナメントを実施  
講 師 : 大阪体育大学 准教授 曾根裕二氏  
場 所 / J:COM 末広体育館  
参加者 / 72名 協力者 / 14名

### (2) 第44回 社協チャリティバザー

社会福祉関係団体及び協力団体・グループや市民の協力を得て、あらゆる品物を市価の半額程度で販売。売上金はすべて市民の福祉活動のために使用する。開催に先立ち、共催団体による準備会を開催した上で、物品提供・寄付金の受付を行った。

売上金 / 1,060,153円  
開催日 / 令和5年12月10日(日)  
内 容 / 物品販売・オークション等  
場 所 / 市立社会福祉センター  
協力者 / 前々日 3名、前日 52名、当日 55名

### (3) 第45回 社協ふれあいクリスマス会

障がいをもつ児童や家庭児童相談員や教育委員会が関わっている子どもを対象に開催した。

開催日 / 令和5年12月16日(土)  
内 容 / プログラム(プロのパントマイムとアコーディオンによるパフォーマンス、ボランティアグループおはなしの会ルピナスによる絵本やパネルシアター等)、プレゼント、ケーキの配布  
場 所 / エブノ泉の森ホール レセプションホール  
参加者 / 対象児童名 33名・同伴者 67名・ボランティア 24名 合計 124名

### (4) 第10回 ボランティアフェスティバル

1人でも多くの人たちにボランティア活動について関心を持っていただくとともに、潜在的なボランティアを発掘すること、ボランティア相互の交流を図ることを目的とし、開催。

開催日 / 令和5年6月11日(日)

内 容 / 登録ボランティアグループによる体験・PR ブース、ステージイベント、福祉事業所による物販ブース、災害ボランティア事前登録ブース

場 所 / エブノ泉の森広場・生涯学習センター多目的室

参加者 / 来場者 145名

協力者 / 前日（準備日） 31名、当日 150名

## 6. 善意銀行 寄託・払い出し状況

寄 託 件 数	47
寄 託 金 額	1,374,875 円
寄 託 物 品	テント・ウエイト、家庭用カラオケセット一式、車いす、フリーズドライビスケット、食器類、スーツ・ズボン、ハロゲン投光器、生理用品、介護用品・衛生用品
払 出 し 件 数	5
払 出 し 金 額	① ふれあいクリスマス会 235,971 円 ② 心配ごと相談事業 163,178 円 ③ 障がい児者ふれあい交流会 102,083 円 ④ ボランティアグループ 応援助成金 80,660 円 ⑤ 貸出用備品購入 181,083 円 ----- 合 計 762,975 円

## 〔5〕 総合相談事業の推進

『心配ごと相談所』の相談実績は以下のとおりで、内容に応じて関係機関等と連携し、問題解決の調整を行った。

### 1. 心配ごと相談所の開設

相 談 員 数	16 名
開 設 延 日 数	48 日
出席延相談員数	91 名
相 談 者 数	20 名
相 談 件 数	20 件
相談員連絡会議	2 回

#### (1) 出張相談

開 催 日 / 令和 5 年 9 月 27 日（水）

令和 5 年 10 月 26 日（木）

場 所 / いこらも～る泉佐野

相 談 員 / 10 名

相談件数 / 7 件

※相談状況

対象者 \ 内容	家族関係	人間関係 他の	病 気	仕 事	法 律	金 銭 関 係	そ の 他	計
高 齢 者	4	2	1	1	0	2	3	13
障 が い 者	0	0	0	0	0	0	0	0
子 育 て 中 の 親	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	1	0	1	2	0	0	3	7
計	5	2	2	3	0	2	6	20

※対応

傾聴・助言 18件

他機関紹介 2件（地域包括支援センター・泉佐野保健所）

〔6〕コミュニティソーシャルワーカー（CSW）事業の推進

令和2年度よりCSWの委託方法が変更され、包括支援センターしんいけとしてチームでのコミュニティソーシャルワーク機能の発揮に取り組んだ。

1. 新池圏域CSW分活動実績（個別相談）

(1) 対象者別

相談対象者		延べ件数	実件数
高齢者	1人暮らし	18	3
	高齢者のみ世帯	0	0
	その他高齢者	1	1
障がい者	身体障がい者	0	0
	知的障がい者	0	0
	精神障がい者	0	0
子育て中の親子		2	2
一人親家庭の親子		4	3
青少年		0	0
DV被害者		0	0
ホームレス		0	0
外国人（中国帰国者を含む）		6	6
その他	低収入（無職含む）	0	0
	引きこもり	1	1
	障がい疑い（疾病疑い）	1	1
	DV加害者、虐待	0	0
	その他	7	4
合 計		40	21

(2) 相談内容別

相談内容		対応延べ件数
福祉制度・サービスに関する相談		33
生活に関する身近な相談		6
健康・医療に関する相談		5
生活費に関する相談		43
就労に関する相談		4
財産管理・権利擁護に関する相談		0
多重債務に関する相談		2
DV・虐待に関する相談		2
地域福祉・ボランティアに関する相談		0
住宅に関する相談		4
子育て・子どもの教育に関する相談		6
その他	近隣トラブル（人間関係）	0
	家族関係	2
	その他	0
合 計		107

〔7〕在宅福祉活動の推進

公的サービスで支援できない在宅要援護者の生活上の困りごとを支援するために、『有償協力員派遣事業』（おたがいさまの会）を行い、病院の通院付添いや、入院時の買物・洗濯などの支援、墓掃除など多様なニーズに対して支援を行った。

その他、外出困難な高齢者や障がい者等に対して『福祉車両』及び『車椅子』の貸し出しを行った。

1. 有償協力員派遣事業「おたがいさまの会」

- (1) 会員の登録状況      協力会員 / 27名      利用会員 / 39名
- (2) 支援状況              延べ 274 時間
- (3) 協力員連絡会の開催      1 回
- (4) 運営委員会の開催      1 回
- (5) 説明会の開催              1 回

2. 福祉車両貸し出し

利 用 者 数      6 名 / 貸 出 回 数      延べ 32 回

3. 車椅子貸し出し

利 用 者 数      46 名 / 貸 出 回 数      延べ 61 回

〔8〕高齢者世帯への支援（基幹包括支援センターいずみさの・包括支援センターしんいけ）

直接支援を行う「包括支援センターしんいけ」と、しんいけを含めた各地域型包括支援センターへの後方支援を行う「基幹包括支援センターいずみさの」事業で役割を分担しつつ、

関係各部署と連携しながら問題共有や解決に取り組んだ。

基幹包括支援センター事業では、高齢者のデジタル格差解消と認知症予防を目的として、スマートフォン教室を認知症施策推進事業において開催し好評を得るとともに、体力や認知能力の低下がみられる高齢者が増加している状況をふまえて令和3年度より始めた「さのトレ体操」の普及など高齢者の参加の場づくりに取り組んだ。

## 1. 支援の基盤整備

### (1) 高齢者虐待防止活動

高齢者虐待通報への対応件数 69件（うち「虐待あり」判断数22件）

### (2) 在宅医療・介護連携推進事業

①代表者会議 1回

②事務局会議 10回

③訪問によるネットワーク形成 医療機関13か所

④地域住民への普及啓発

泉佐野市版エンディングノート（メッセージノート）の配布と広報誌への掲載・看護学校での講座等

⑤泉州南圏域医療・介護連携推進会議に参加

⑥多職種研修会

開催日／ 令和6年2月22日（木）

内 容／ 入退院における多職種連携について  
～再入院を予防するために私たちができること～

参加者／ 医療・介護関係者 60名

## 2. 総合相談・権利擁護

### (1) 相談状況

		いずみさの	しんいけ
相談実人数		208	272
相談延べ件数（対応回数）		1,279	2,118
相談形態内訳	訪問	69	410
	来所面接	267	240
	電話	943	1,468

### (2) 相談内容

相談内容		いずみさの	しんいけ
介護保険関係	介護保険制度	50	299
	ケアプラン	77	242
	サービス	118	380
	施設入所	82	58
介護保険関係以外の 福祉サービス	緊急通報装置など(福祉制度)	6	74
	ボランティアなど(制度外)	25	60

相 談 内 容		いずみさの	しんいけ
医療・保健相談	保健予防	0	12
	入退院など（医療）	112	342
家庭介護・介護者支援	認知症	210	252
	身体介護	7	1
	精神介護	11	9
	家庭環境	193	242
権利擁護	成年後見制度など	234	178
	財産・経済問題など	113	214
	虐待関係	765	89
	その他	7	0
その他生活上の相談	社会生活など	26	37
	他	28	30
合 計		2,064	2,519

### 3. 包括的・継続的ケアマネジメント

#### (1) 介護支援専門員に対する支援

ケアマネジャー支援件数 いずみさの 419件、 しんいけ 427件  
(相談内容)

支援数		支援内訳（延べ）				
		ケアマネ ジメント	社会資 源紹介	主治医 連携	虐待 防止	その他
いずみさの	419	269	81	6	12	51
しんいけ	427	371	98	14	41	58

#### (2) 事業所向け研修会

開催日	内 容	参加者数
6月13日(火)	法定外研修 高齢者の「できる」を支援する ～本人の力を引き出す目標設定とは～	50
11月24日(金)	事例検討会（介護支援専門員対象）	35
12月13日(水)	事業所向け研修「意思決定支援の基礎」	29

#### (3) 介護支援専門員連絡会活動支援

- ・ 泉佐野市田尻町介護支援専門員連絡会幹事会開催 4回
- ・ 泉佐野市田尻町介護支援専門員連絡会総会 1回
- ・ 泉佐野市田尻町介護支援専門員連絡会主催研修会 2回

#### (4) 地域型包括後方支援

- ・ 介護予防支援業務・担当者会議開催 2回

#### (5) ケアマネジャー交流会・勉強会

全3回 参加者延べ35名

### 4. 介護予防マネジメント

- (1) 介護予防サービス計画作成数 2,019 件  
 (内訳) 包括作成 250 件 委託件数 1,769 件
- (2) 介護予防ケアマネジメント作成数 928 件  
 (内訳) 包括作成 139 件 委託件数 789 件

#### 5. 出張講座・介護予防教室等

- (1) 介護予防・認知症などに関する出張講座 4 回 参加者延べ 163 名  
 (2) 地域健康教室での出張講座 2 回 参加者延べ 20 名  
 (3) 健康体操を用いた通いの場づくり 2 地区

#### 6. 認知症施策総合推進事業

- (1) スマートフォン教室の開催 4 回×2 コース開催 参加者 22 名  
 (2) 認知症ケアパスの普及、活用 1,000 部  
 (3) 認知症サポーター養成講座  
 ・開催回数 10 回 養成サポーター数 218 名受講  
 R5 年度末 延べ 7,530 名受講  
 うち、キッズサポーター養成講座（北部青少年センター、第三小学校）50 名  
 (4) 徘徊 SOS ネットワーク事業  
 ・泉州圏域市町村徘徊高齢者等ネットワーク会議への参画  
 ・事業普及啓発のチラシ配布  
 ・徘徊 SOS ネットワーク発信 泉佐野市民 1 件  
 (5) 初期集中支援チーム事業  
 ・事業の周知  
 ・支援対象者 4 名 チーム員会議 8 回開催 自宅訪問 7 回実施  
 (6) WAO いずみさの

開催日 / 令和 5 年 9 月 30 日（土）

内 容 / 「認知症の正しい理解と尊厳を守るケア」

関西サナトリウム医師 桂 功士氏

「脳を活性化する食事」

佐野記念病院 管理栄養士 南 恵梨香氏

「認知症の方への食事のポイント」

佐野記念病院 管理栄養士 森下 智将氏

「今から始める認知症予防～簡単で楽しい認知症予防体操～」

羽原病院 作業療法士 中野 正俊氏

参加者 / 51 名

#### 7. 介護支援サポーター事業

新型コロナウイルス感染症の 5 類変更に伴い、徐々に施設側の活動受入が再開された。

登録申請者数	登録者数	活動人数 (実数)	活動人数 (延べ)	活動回数 (延べ)
12	72	15	76	191

(1) 介護支援サポーター養成講座

開催日	内 容	新規養成者数
7月21日(金)	第1回介護支援サポーター養成講座	5
1月29日(月)	第2回介護支援サポーター養成講座	7

(2) 介護支援サポーター交流会

開催日	内 容	参加者数
10月12日(木)	第1回介護支援サポーター交流会	サポーター8 受入施設 10
3月1日(金)	第2回介護支援サポーター交流会	サポーター14 受入施設 4

[9] 障がい者世帯への支援〈基幹包括支援センターいずみさの・包括支援センターしんいけ〉

障がい者世帯への支援においても、各地域型包括支援センターの後方支援を行う基幹包括支援センターいずみさの業務と、新池中圏域の相談支援を担う包括支援センターしんいけ業務の2つの業務に取り組んだ。

南海電鉄より、企業連携による授産品販売会の提案をうけたことをきっかけに、複数の就労支援事業所が合同で企画実施をするための就労支援事業所連絡会の立ち上げを行った。

1. 基幹相談支援センター業務

(1) 総合相談とスクリーニング機能

身体障がい、知的障がい及び精神障がい等に対応した総合相談窓口の設置並びに特定相談支援事業所及び一般相談支援事業所への適切なつなぎを行った。

●相談状況

		いずみさの	しんいけ
相談実人数		155	83
相談延べ件数		2,425	1,967
相談形態 内訳	訪問	36	137
	来所面接	30	94
	同行	16	45
相談形態 内訳	電話	252	707
	メール	5	77
	関係機関連絡調整	692	881
	個別支援会議	88	25
	その他	1	1

●相談内容延べ件数

相談内容	いずみさの	しんいけ
福祉サービスの利用等	450	1,191

相談内容	いずみさの	しんいけ
障がいや病状の理解	459	788
健康・医療	175	358
不安の解消・情緒安定	163	378
保育・教育	51	131
家族関係・人間関係	281	225
家計・経済	75	335
生活技術	7	24
就労	34	111
社会参加・余暇活動	35	51
権利擁護	977	343
その他	18	119

(2) 相談支援事業所に対する後方支援（専門相談機能）

いずみさの 延べ 567件 / しんいけ 延べ 21件

(3) 自立支援協議会の事務局運営

事務局会議 6回

専門部会他会議の運営 12回

(4) インターバル研修の受け入れ 延べ 13名

(5) 相談支援体制強化（会議等の参加）

「泉州地域障害者基幹相談支援センター連絡会」「相談支援事業所連絡会（児）」

「ジョブネット泉州南会議」「泉南ブロック進路指導関係連絡会」

「泉南支援学校進路懇談会」「ルリエ連絡会」

「要保護児童対策地域協議会障害児部会」「難病患者支援ネットワーク会議」

「南海電鉄との企業連携授産品販売説明会」「楓こころのホスピタル茶話会」

「大阪府泉佐野保健所管内精神保健福祉関係機関職員連絡会」

「田尻町地域包括ケア会議」「泉州圏域高次脳機能障害ネットワーク会議」

「児童発達支援センター相談支援事業所・通所事業所交流会」

「地域の絆づくり登録制度会議」「『災害に強いまち泉佐野』を目指す協働研修」

(6) 啓発活動

・わ∞ねっと障がい者絵画作品展 令和5年11月21日～12月8日

・福祉教育 7校

・就労支援部会にて作成した就労支援パンフレット、授産品リストの配布

## 2. 障がい者虐待防止センター業務

通常業務の他、休日夜間対応の通報ダイヤルを設置し障がい者虐待に関する相談・通報を受付した。

・障がい者虐待通報受理件数 27件うち虐待あり8件

・障害者虐待会議（レビュー会議） 泉佐野市 4回／田尻町 0回

## 3. 障害支援区分認定調査業務

障害福祉サービスを利用するために必要とされる支援の度合いを、全国一律の基準に基づき公平性と客観性の観点で調査業務を行った。

また、認定審査会への出席を市より依頼され、1名を委員として派遣した。

(1) 調査業務

	年間合計（延べ）
更新調査数	217
新規調査数	220
区分変更	10
合計	447
うち市外（高石以南）	64

(2) 障がい区分認定審査会への出席 7回

〔10〕中核機関（泉佐野市成年後見支援センター）

泉佐野市との協議により、令和4年4月1日より、泉佐野市・本会・大阪府社会福祉協議会による機能分担型での中核機関「泉佐野市成年後見支援センター」を開設した。

国の成年後見利用促進計画、泉佐野市地域福祉計画（成年後見利用促進計画）に基づき、市民後見人の活躍機会増加を目指して取り組んだ。

1. 市民後見人の活動状況（令和6年3月31日時点）バンク登録者 13名／受任者 6名

- (1) 専門相談 10回
- (2) 市民後見人バンク登録者交流会 2回
- (3) 研修会等での活動報告

開催日	内容
5月13日(土)	権利擁護型地域ケア会議研修会 「成年後見制度と市民後見人の活躍について知ろう！」活動報告
3月16日(土)	～大阪府・大阪市・堺市 三社協同事業～ 令和5年度 市民後見人・成年後見制度啓発シンポジウム パネリスト

2. 地域連携ネットワークの推進

- (1) 中核等会議の開催 6回
- (2) 権利擁護型地域ケア会議の開催 1回

3. 周知・啓発等

開催日	内容	参加者数
5月13日(土)	権利擁護型地域ケア会議研修会 「成年後見制度と市民後見人の活躍について知ろう！」 講師：大阪社会福祉士会 新宮進氏、市民後見人	53
8月4日(金)	心配ごと相談員研修 「成年後見制度でできること・できないこと」	14
10月3日(火)	社会福祉法人いちょうの森 グループホーム家族の集い「成年後見制度説明会」	17



開催日	参加者数
11月11日(土)	13
1月13日(土)	2

開催日	参加者数
12月9日(土)	10
3月9日(土)	3

(6) 出張相談会の開催

開催日 / 令和5年7月20日(木)  
 内容 / 「外国人のための相談サービス」  
 参加者 / 6名

(7) ひきこもり講演会の開催

開催日	講座名	参加者数
9月26日(火)	藤田 純さんトークライブ 講師：株式会社ヒラタ 代表取締役 藤田 純氏	54

※縁起プロジェクト事業との共同開催

(8) 生きづらさを感じている方の多様な働き方(社会参加)を考える勉強会

開催日 / 令和5年11月29日(水)  
 内容 / 「持続可能な地域づくり～企業や事業所等が取り組むSDGs勉強会(交流会)～」  
 参加者 / 37名(企業、福祉事業所、包括支援センター等)

(9) 生活困窮相談員向け自主勉強会の開催 10回

2. 縁起プロジェクト

生きづらさを感じている人たちが安心できるつながりや自己肯定感の回復を得ることを目指して、通いの場づくりや地域理解を得るための取り組みを行った。また、支援者と当事者のコミュニケーションツールとして、「ぷらっとふぉーむ通信」を毎月作成し、支援者を通じて当事者へ配布した。

(1) りれーしょん(居場所作り) 12回

(2) テーマ別活動

開催日	内容	参加者数
4月18日(火)	りんくう公園清掃ボランティア	4
9月7日(木)	映画鑑賞	4
11月15日(水)	焚火会	4
3月27日(水)	お花見	3

(3) ぷらっとふぉーむ通信の発行 12回

(4) ひきこもり講演会の開催(再掲)

開催日	講座名	参加者数
9月26日(火)	藤田 純さんトークライブ 講師：株式会社ヒラタ 代表取締役 藤田 純氏	54

[12] 子育て世代に対する支援(基幹包括支援センターいずみさの)

「子育て世代包括支援センター事業」および「母子保健事業」は、産前から子育て世代に関わり、社会的援護を要する家庭の発見・相談・専門機関の紹介などの情報提供を行う

とともに、新池中圏域の妊娠届の受付・母子手帳発行業務を行うほか、各地域型包括支援センターで受け付けた妊娠届のとりまとめ業務を行っている。

(1) 妊娠届の受け付け・母子健康手帳の交付および面接

妊娠届 受理数	時期						うち支援 プラン数	アセスメントシ ートにチェック がった妊婦数	
	～11 週	12-19 週	20-27 週	28週 ～	不明	産 後		うち特定 妊婦数	
143	138	3	2	0	0	0	2	75	14

うち、新池中圏域外 20 件(日根野中圏域 10/佐野中圏域 4/長南中圏域 3/第三中圏域 3)

(2) 子育て世帯への相談・情報提供

実人数	65
来所相談	42
訪問相談	7
電話相談	13
情報収集	14
関係機関連絡調整	27

(3) 地域型包括支援センターへの後方支援

①母子担当者会議の開催協力

開催日	内 容	参加者数
9月29日(金)	「赤ちゃんとママのための食事のポイント」 講師：泉佐野市健康推進課 管理栄養士 河端智子氏 〃 助産師 三枝雅美氏	13
3月29日(金)	子育て世代包括支援センター情報交換会	15

(4) 関係機関との連携

- ① 5月18日(木) おやとこらいぶねっと主催「baby&kids festa」ブース出展
- ② 9月24日(日) 泉佐野地球交流協会主催「子どもの国際交流」相談ブース出展

[13] 地域自殺対策強化事業〈基幹包括支援センターいずみさの〉

令和元年度より地域自殺対策推進事業では、地域のつながり・支えあいで自殺を防ぐことを目的に、講座・イベント・相談支援等を企画した。

(1) 普及啓発事業

①相談窓口周知チラシ配布 通年 対象者：地域住民・関係機関等

②自殺対策強化月間啓発事業（相談窓口の啓発）

開催日 / 令和5年9月4日～6日（月～水）

場 所 / イオンモール日根野

内 容 / パネル展示

参加者 / 延べ250名

③講演会

開催日	内 容	参加者数
3月23日(土)	「更年期以降を穏やかに過ごすコツ」 講師：和歌山労災病院 辰田 仁美氏 対象：地域住民	23

(2) 人材養成事業

開催日	内 容	参加者数
7月27日(木)	「死別の悲しみに向き合う～グリーフケアとはなにか」 講師：関西学院大学人間福祉学部人間科学科 坂口幸弘氏 対象：医療福祉従事者	23
9月29日(金)	ゲートキーパー養成講座 対象：地域住民	38
10月25日(水)	ゲートキーパー養成講座 対象：登録ボランティア	20
10月31日(火)	ゲートキーパー養成講座 対象：関係機関職員	26

(3) 若年層対策事業

①特別展示「あなたの心が軽くなるために」

開催日 / 令和5年7月28日～8月31日

場 所 / 中央図書館

対 象 / 地域住民

②講演会

開催日	内 容	参加者数
11月29日(水)	「自殺行為の理解について～自殺対策の視点から～」 講演：きじまこころクリニック 織田 裕行氏	48

(4) 相談支援事業

対面相談 22件      訪問相談 42件      電話相談 436件

[14] 地域型包括支援センターの支援〈基幹包括支援センターいずみさの〉

地域型包括支援センターの活動状況を把握し、業務が円滑に推進するように各センターからの相談に対し、その内容に応じ、助言、同行訪問、ケースカンファレンス開催、行政機関との調整や地域ケア会議開催等の支援をはじめ、業務毎に連絡会や意見交換会を実施したり、研修会や勉強会を開催したりするなどして支援した。

(1) 包括支援センター事務局会議の開催      4回

(2) 個別相談月別内容別の地域型包括支援センターの支援数      合計延 2,353件

①支援・相談内容

業務区分	小分類	件数
地域包括	高齢者虐待	114
	介護予防プラン	221
	社会資源紹介	3
	支援困難	91
	成年後見等	77
	関係機関調整	60
	高齢相談その他	24
障害相談	障がい者虐待	118
	サービス利用計画等	19
	社会資源紹介	13
	支援困難	113
	成年後見等	46
	関係機関調整	31
	障がい相談その他	35
生活困窮	支援プラン	51
	住居確保給付金	18
	就労準備支援	26

業務区分	小分類	件数
生活困窮	社会資源紹介	10
	統計システム操作	23
	生活困窮その他	83
母子	母子手帳受付	79
	ケース連絡	11
	社会資源紹介	4
	虐待防止	0
	関係機関調整	6
	母子その他	10
その他	届出等法的手続きに 関すること	8
	ケア会議開催支援	12
	苦情対応	8
	対人援助	2
	メンタル支援	2
	その他	19
合計		1,337

### 〔15〕 広報宣伝活動の推進と備品の貸し出し

社協機関紙「社協だより」を年6回発行し、社協活動をPRするとともにホームページ、ブログ、インスタグラム、公式YouTubeチャンネルにより広く情報提供を行った。また、地域の福祉活動を応援するべく、社協備品の貸し出しを行った。

- (1) 社協だよりの発行 年6回（5月・7月・9月・11月・1月・3月）
- (2) 社協ホームページの運営 年間閲覧件数 延 47,684 件

### 〔16〕 日常生活自立支援事業の推進

判断能力の十分でない認知症高齢者や障がいのある方を対象に、契約によって、生活の相談に応じたり、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等のサービスを行うことで、自立した生活がおくれるよう支援を行っている。

なお、成年後見等開始の審判市長申立については、市と連携を図っている。

#### ※ 契約・活動 件数

内 容	本事業の利用に関するもの				合 計	
	対象者 状況	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等		その他
活 動 件 数		446	1,098	1,983	1	3,528
新規契約件数		1	3	8	0	12
契 約 件 数		10	22	27	0	59

## [17] 社会福祉協議会会員組織の充実と自主財源の強化

社協会員会費制度の継続加入を図り、各町内会・福祉委員会他、福祉関係団体の協力を得て、6,853,000円（昨年比－199,500円）の浄財が寄せられた。そのうちから、地域の福祉活動に利用していただく為、会員会費の50%を還付した。さらに、地区福祉委員会活動に10%還付した。

協賛会員制度については、320,000円の浄財が寄せられた。

### 1. 各地区・社協会員会費募集状況

一 小 地 区	1,462,000 円
二 小 地 区	540,000 円
三 小 地 区	331,000 円
日 新 地 区	1,052,000 円
中 央 地 区	340,000 円
長 滝 地 区	563,000 円
北 中 地 区	700,000 円
南 中 地 区	260,000 円
長 坂 地 区	321,000 円
佐 野 台 地 区	504,000 円
上 之 郷 地 区	250,000 円
日 根 野 地 区	300,000 円
末 広 地 区	140,000 円
大 土 地 区	90,000 円
合 計	6,853,000 円

### 2. 協賛会員会費募集状況 (1口 10,000円)

泉佐野市長生会連合会	社会福祉法人 いちちょうの森
社会福祉法人 光会	社会福祉法人 常茂恵会
社会福祉法人 泉ヶ丘福祉会	社会福祉法人 水平会
社会福祉法人 犬鳴山	社会福祉法人 和泉の国
社会福祉法人 清光会	泉佐野地区 保護司会
社会福祉法人 来友会	社会福祉法人 泉佐野ルーテル福祉会
社会医療法人 栄公会	社会福祉法人 あおい会
社会福祉法人 日新親友会	社会福祉法人 杉の子会
社会福祉法人 清和会	社会福祉法人 日根野福祉会
社会福祉法人 みやび	社会福祉法人 幸楽会
NPO 法人 いきいきくらぶ	泉佐野ロータリークラブ
民生委員児童委員協議会	土丸町会
泉佐野商工会議所	大木町内会

いいね合同会社	大阪いずみ市民生活協同組合
泉佐野地球交流協会	NPO 法人サードプレイス
(株)KTAJ マイルーム放課後 こども教室ジャンプ	合同会社おはな

## [18] 共同募金事業の推進

### 1. 赤い羽根共同募金運動

10月1日から12月31日にかけて赤い羽根共同募金運動として広く市民に協力を呼びかけ、戸別募金等を実施した。市内小中学校にも協力を依頼し9校にて児童、生徒による募金活動が行われた。街頭募金については、6ヶ所で開催し、ボランティア・ANA・佐野支援学校の学生にも協力してもらった。

募金額 5,563,839円（昨年比 +2,924,294円）

### 2. 歳末たすけあい運動

“つながりささえあうみんなの地域づくり”のスローガンにもとづき、「歳末たすけあい運動」を実施した。多くの浄財が寄せられ、ひとり暮らし高齢者への見守り支援や児童が書いた年賀状の送付などに配分をし、福祉の増進に役立たせていただいた。

募金件数 44件 募金額 993,637円（昨年比 +186,390円）  
払出金額 755,653円

## [19] 低所得世帯への支援

低所得者世帯や高齢者・障がい者世帯、生計中心者が失業した世帯等に対して、大阪府生活福祉資金貸付の窓口として相談・申請を受け付けるとともに、必要に応じて生活困窮者自立相談支援機関や民生委員を紹介した。

相談件数	647
------	-----

貸付種類	生活福祉資金 (総合支援資金を除く)	総合支援資金 ※臨時特例つなぎ資金含む	緊急小口資金
申込件数	18	0	10
申込金額	8,992,000円	0円	1,000,000円

貸付を借り受けた世帯の償還・免除手続き支援を行うとともに、償還猶予中の借受人の生活状況等の把握や見守り支援、償還免除決定者に対するフォローアップ支援を実施した。また、必要に応じて生活困窮者自立相談支援機関や基幹包括支援センターとの連携を行った。

※特例貸付償還・免除手続き支援 517件

※特例貸付償還免除決定者に対するフォローアップ支援 458件

## [20] 市立社会福祉センターの管理運営

社会福祉センターの管理運営業務を受託し、施設の環境を整備するとともに利用者が快適に利用できるよう、設備機器の保守点検を委託契約した。職員研修では、AED取扱訓練・

自衛消防訓練を実施した。

## 1. 高齢者・障がい者交流会、研修会の開催

### 【高齢者・障がい者交流会】

例年多人数が参集する交流会を2回開催している。今年度は8月30日に、市危機管理課による「秋の災害シーズンに備えて！」と佐野記念病院リハビリテーション部による「膝・腰の痛み！」を開催し、不自由な避難所で少しでも生活しやすくする心得や老後に向けて運動・カルシウムなどの栄養・日光浴といった健康で長生きの秘訣の講習を実施した。

また、2月27日に、大阪府歯科衛生士会による「オーラルフレイルを予防しよう！」と桂文五郎さんによる「笑う門には福来る！生活に笑いを！人生に潤いを！」を開催し、おいしく食べて元気に過ごすために歯と口の健康について取組方法の紹介や落語を通じて笑いを実施する交流会を実施した。

### 【研修会】

開催日	研 修 会 名	参加者数
10月24日(火)	AED取扱実施講習 「救命入門講習及び取扱い訓練」	職員 12
3月26日(火)	自衛消防訓練「非常放送設備の操作と施設内設備の確認および利用者の避難誘導」	約 29 (内、職員 13)

## 2. 福祉センター利用状況

大広間利用者数	娯楽室利用者数	老人福祉センター (健康機器)
5,989	7,483	1,609

※大広間：詩吟・大正琴・健康麻雀・民踊・カラオケ・華道・シニアソロバンのクラブが使用

※娯楽室：囲碁・将棋・体操のクラブが使用

### 会議室利用件数

	小会議室		大会議室		合計	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
午前	171	2,562	210	3,878	381	6,440
午後	219	3,573	215	6,211	434	9,784
夜間	120	2,043	13	403	133	2,446
合計	510	8,178	438	10,492	948	18,670

### 扇湯（旭湯）シャトルバス運行日数及び利用人数

運行日数	155日
扇湯行	1,029名
旭湯行	179名
福祉センター行	1,214名